

霧島市商工会

平成 29 年度第 1 回 霧島市の経済動向調査結果概要

「霧島市の経済動向アンケート調査」を実施し、結果を取りまとめましたので、お知らせいたします。

概況（食品関連産業）	
業況 D.I.	<p>○今期の業況 D.I.は▲22 となり、前期(▲33)より改善した。 ⇒菓子大幅に改善したほか、荒茶が改善した。一方、その他はほぼ横ばいで推移し、黒酢は低下した。</p> <p>○来期の業況見通し D.I.は▲24 となり、今期(▲22)よりもやや低下する見通し。 ⇒品目別にみると、荒茶が改善する一方、黒酢、菓子、その他の 3 品目が低下する見通し。</p>
売上高 D.I.	<p>○今期は▲16 となり、前期(▲28)よりも改善した。 ⇒品目別にみると、その他が低下した一方、黒酢、菓子は大幅に改善、荒茶が改善した。</p> <p>○来期は▲19 となり、今期(▲16)よりも低下する見通し。 ⇒品目別にみると、荒茶がやや改善し、その他が横ばいとなる一方、黒酢、菓子が悪化する見通し。</p>
製品・商品在庫 D.I.	<p>○平成 29 年 3 月末の製品・商品在庫の過不足感は、「過剰」7%、「適正」75%、「不足」18%で D.I.は▲11 となり、前期(▲6)よりも悪化した。 ⇒品目別にみると、その他が改善した一方、菓子、荒茶が低下し、黒酢が大幅に低下するなど在庫不足感が高まっている。</p>
損益 D.I.	<p>○今期は▲16 となり、前期(▲33)よりも改善した。 ⇒品目別にみると、黒酢、菓子が大幅に改善し、荒茶、その他も改善した。</p> <p>○来期は▲15 となり、今期(▲16)とほぼ横ばいの見通し。 ⇒品目別にみると、菓子、その他が悪化し、黒酢が横ばいとなる一方、荒茶は好転する見通し。</p>
販売価格 D.I.	<p>○今期は▲4 となり、前期(▲5)とほぼ横ばいとなった。 ⇒品目別にみると、菓子が改善し、黒酢が横ばいとなった一方、荒茶、その他が低下した。</p> <p>○来期は▲3 となり、今期(▲4)とほぼ横ばいの見通し。 ⇒品目別にみると、菓子が低下し、黒酢が横ばいとなる一方、荒茶、その他が上昇する見通し。</p>
仕入価格 D.I.	<p>○今期は 36 となり、前期(37)とほぼ横ばいとなった。 ⇒品目別にみると、荒茶が上昇した一方、黒酢、菓子、その他の 3 品目が低下した。</p> <p>○来期は 37 となり、今期(36)とほぼ横ばいの見通し。 ⇒品目別にみると、荒茶が上昇し、黒酢、菓子の 2 品目が横ばい、その他が低下する見通し。</p>
資金繰り D.I.	<p>○今期は▲22 となり、前期(▲42)よりも大幅に改善した。 ⇒品目別にみると、菓子、その他が大幅に改善したのをはじめ、黒酢、荒茶が改善し、全業種でマイナス圏ながら改善した。</p> <p>○来期は▲22 となり、今期(▲22)と横ばいの見通し。 ⇒品目別にみると、荒茶が改善し、菓子が悪化する見通し。黒酢、その他の 2 品目が横ばいで推移する見通し。</p>
雇用人員 D.I.	<p>○今期は▲30 となり、前期(▲19)よりも悪化した。 ⇒品目別にみると、荒茶が横ばいとなったものの、黒酢、菓子が大幅に悪化し、その他も悪化するなど 3 品目で人手不足感が高まった。</p> <p>○来期は▲27 となり、今期(▲30)よりも改善する見通し。 ⇒品目別にみると、荒茶で不足感が高まる一方、黒酢が横ばい、菓子、その他で改善する見通し。</p>

図表1 霧島市の経済動向調査結果（食品関連産業製造業）

	平成28年4月～9月期				平成28年10月～29年3月期				平成29年4月～9月期				今期比
	前期実績				今期実績				来期見通し				
	良い増加 (A)	普通同程度 (B)	悪い減少 (C)	D.I. (A)-(C)	良い増加 (A)	普通同程度 (B)	悪い減少 (C)	D.I. (A)-(C)	良い増加 (A)	普通同程度 (B)	悪い減少 (C)	D.I. (A)-(C)	
自社の業況	12	43	45	▲ 33	11	56	33	▲ 22	16	44	40	▲ 24	↓
黒酢	0	80	20	▲ 20	0	67	33	▲ 33	0	50	50	▲ 50	↓
荒茶	18	53	29	▲ 11	12	70	18	▲ 6	29	53	18	11	↑
菓子(かるかん等)	0	13	87	▲ 87	13	37	50	▲ 37	13	18	69	▲ 56	↓
その他	20	40	40	▲ 20	13	55	32	▲ 19	13	52	35	▲ 22	↓
売上高	17	38	45	▲ 28	17	50	33	▲ 16	16	49	35	▲ 19	↓
黒酢	0	70	30	▲ 30	0	100	0	0	0	83	17	▲ 17	↓
荒茶	29	53	18	11	41	47	12	29	44	43	13	31	↑
菓子(かるかん等)	0	13	87	▲ 87	13	31	56	▲ 43	13	24	63	▲ 50	↓
その他	25	29	46	▲ 21	10	50	40	▲ 30	7	56	37	▲ 30	→
製品・商品在庫 (適正水準比)	過剰 11	適正 72	不足 17	▲ 6	過剰 7	適正 75	不足 18	▲ 11					
黒酢	20	80	0	20	0	100	0	0					
荒茶	12	70	18	▲ 6	6	75	19	▲ 13					
菓子(かるかん等)	7	57	36	▲ 29	0	69	31	▲ 31					
その他	8	79	13	▲ 5	13	74	13	0					
損益	好転 14	横ばい 39	悪化 47	▲ 33	好転 11	横ばい 62	悪化 27	▲ 16	好転 13	横ばい 59	悪化 28	▲ 15	↑
黒酢	0	70	30	▲ 30	0	100	0	0	0	100	0	0	→
荒茶	24	52	24	0	22	67	11	11	33	61	6	27	↑
菓子(かるかん等)	0	20	80	▲ 80	13	43	44	▲ 31	6	44	50	▲ 44	↓
その他	21	29	50	▲ 29	7	60	33	▲ 26	6	59	35	▲ 29	↓
販売価格	上昇 9	横ばい 77	低下 14	▲ 5	上昇 7	横ばい 82	低下 11	▲ 4	上昇 10	横ばい 77	低下 13	▲ 3	↑
黒酢	0	100	0	0	0	100	0	0	0	100	0	0	→
荒茶	18	70	12	6	12	76	12	0	25	56	19	6	↑
菓子(かるかん等)	7	53	40	▲ 33	6	69	25	▲ 19	6	63	31	▲ 25	↓
その他	8	88	4	4	6	88	6	0	6	91	3	3	↑
仕入価格	上昇 42	横ばい 53	低下 5	37	上昇 39	横ばい 58	低下 3	36	上昇 40	横ばい 57	低下 3	37	↑
黒酢	20	80	0	20	17	83	0	17	17	83	0	17	→
荒茶	13	80	7	6	19	81	0	19	27	73	0	27	↑
菓子(かるかん等)	64	22	14	50	50	37	13	37	50	37	13	37	→
その他	57	43	0	57	48	52	0	48	45	55	0	45	↓
資金繰り	楽 0	普通 58	窮屈 42	▲ 42	楽 4	普通 70	窮屈 26	▲ 22	楽 4	普通 70	窮屈 26	▲ 22	→
黒酢	0	78	22	▲ 22	0	83	17	▲ 17	0	83	17	▲ 17	→
荒茶	0	76	24	▲ 24	0	81	19	▲ 19	6	81	13	▲ 7	↑
菓子(かるかん等)	0	40	60	▲ 60	13	62	25	▲ 12	6	63	31	▲ 25	↓
その他	0	50	50	▲ 50	3	65	32	▲ 29	3	65	32	▲ 29	→
雇用人員	過剰 6	適正 69	不足 25	▲ 19	過剰 3	適正 64	不足 33	▲ 30	過剰 3	適正 67	不足 30	▲ 27	↑
黒酢	22	45	33	▲ 11	0	67	33	▲ 33	0	67	33	▲ 33	→
荒茶	0	71	29	▲ 29	0	71	29	▲ 29	0	65	35	▲ 35	↓
菓子(かるかん等)	0	100	0	0	13	54	33	▲ 20	13	67	20	▲ 7	↑
その他	9	56	35	▲ 26	0	65	35	▲ 35	0	69	31	▲ 31	↑

概況（観光関連産業）

業況 D.I.	<p>○今期の業況 D.I.は▲19となり、前期(▲41)より大幅に改善した。 ⇒業種別にみると、旅客運送業がやや悪化したものの、その他が改善し、熊本地震の影響からの反動増やインバウンド観光客が伸びたこと等により、宿泊業、浴場業、飲食業が大幅に改善した。</p> <p>○来期の業況見通し D.I.は▲21となり、今期(▲19)よりもやや悪化する見通し。 ⇒業種別にみると、飲食業、その他が改善し、浴場業は大幅に悪化、宿泊業、旅客運送業が悪化する見通し。</p>
売上高 D.I.	<p>○今期は▲13となり、前期(▲40)よりも大幅に改善した。 ⇒業種別にみると、浴場業がプラス圏に浮上したほか、宿泊業、飲食業、その他が大きく改善した。一方、旅客運送業はやや悪化した。</p> <p>○来期は▲13となり、今期(▲13)と横ばいで推移する見通し。 ⇒業種別にみると、その他が改善する一方、宿泊業、飲食業、旅客運送業がほぼ横ばいで推移し、浴場業が減少する見通し。</p>
製品・商品在庫 D.I.	<p>○平成 29 年 3 月末の製品・商品在庫の過不足感は、「過剰」3%、「適正」84%、「不足」13%で D.I.は▲10となり前期(▲12)に比べやや改善した。 ⇒業種別にみると、その他が悪化し、飲食業が横ばい圏で推移したものの、浴場業、旅客運送業は大幅に改善し、適正水準となった。宿泊業も改善した。</p>
損益 D.I.	<p>○今期▲18と、前期(▲44)よりも大幅に改善した。 ⇒業種別にみると、宿泊業、浴場業、飲食業、旅客運送業、その他のすべての業種で改善した。</p> <p>○来期は▲15となり、今期(▲18)よりも悪化する見通し。 ⇒業種別にみると、飲食業が改善、その他が大幅に改善する一方、宿泊業、浴場業、旅客運送業が悪化する見通し。</p>
販売価格 D.I.	<p>○今期は▲2となり、前期(▲4)よりやや改善した。 ⇒業種別にみると、浴場業が大幅に改善しプラス圏に浮上したほか、宿泊業、飲食業が改善した。一方、旅客運送業は大幅に悪化、その他は悪化した。</p> <p>○来期は▲2となり、今期(▲2)と横ばいで推移する見通し。 ⇒業種別にみると、飲食業が横ばい、宿泊業は改善する一方、旅客運送業は大幅に低下、浴場業は低下し、その他がやや低下する見通し。</p>
仕入価格 D.I.	<p>○今期は 39と、前期(49)よりも低下したものの依然として高い水準にある。 ⇒業種別にみると、宿泊業、浴場業、飲食業、旅客運送業の 4 業種が低下した。</p> <p>○来期は 42となり、今期(39)よりも上昇する見通し。 ⇒業種別にみると、その他が横ばいで推移する一方、飲食業がやや上昇し、浴場業と宿泊業が上昇、旅客運送業は大幅に上昇する見通し。</p>
資金繰り D.I.	<p>○今期は▲24となり、前期(▲32)よりも改善した。 ⇒業種別にみると、浴場業が大幅に改善したほか、宿泊業、飲食業、その他が改善した。一方、旅客運送業は悪化した。</p> <p>○来期は▲25となり、今期(▲24)とほぼ横ばいの見通し。 ⇒業種別にみると、その他が改善する一方、浴場業、飲食業が横ばい圏となり、旅客運送業、宿泊業が低下する見通し。</p>
雇用人員 D.I.	<p>○今期は▲25となり、前期(▲30)よりも改善した。 ⇒業種別にみると、旅客運送業は大幅に悪化し、人手不足感が極めて高くなっている。宿泊業、浴場業、飲食業、その他はマイナス圏ながら改善した。</p> <p>○来期は▲28となり、今期(▲25)よりも低下する見通し。 ⇒業種別にみると、旅客運送業が改善する一方、宿泊業がやや低下、浴場業、飲食業、その他が低下する見通し。</p>

図表2 霧島市の経済動向調査結果（観光関連産業）

	平成28年4月～9月期				平成28年10月～29年3月期				平成29年4月～9月期				今期比
	前期実績				今期実績				来期見通し				
	良い増加 (A)	普通同程度 (B)	悪い減少 (C)	D.I. (A)-(C)	良い増加 (A)	普通同程度 (B)	悪い減少 (C)	D.I. (A)-(C)	良い増加 (A)	普通同程度 (B)	悪い減少 (C)	D.I. (A)-(C)	
自社の業況	7	45	48	▲41	9	63	28	▲19	11	57	32	▲21	↓
宿泊業	12	21	67	▲55	10	66	24	▲14	7	61	32	▲25	↓
浴場業	0	67	33	▲33	22	67	11	11	12	38	50	▲38	↓
飲食業	3	50	47	▲44	5	64	31	▲26	9	60	31	▲22	↑
旅客運送業	13	62	25	▲12	0	86	14	▲14	0	67	33	▲33	↓
その他	14	57	29	▲15	20	47	33	▲13	29	42	29	0	↑
売上高	8	44	48	▲40	14	59	27	▲13	17	53	30	▲13	→
宿泊業	15	18	67	▲52	25	50	25	0	26	48	26	0	→
浴場業	0	67	33	▲33	22	67	11	11	13	49	38	▲25	↓
飲食業	3	53	44	▲41	11	57	32	▲21	14	54	32	▲18	↑
旅客運送業	13	62	25	▲12	0	86	14	▲14	17	50	33	▲16	↓
その他	14	50	36	▲22	13	67	20	▲7	21	58	21	0	↑
製品・商品在庫 (適正水準比)	過剰 2	適正 84	不足 14	▲12	過剰 3	適正 84	不足 13	▲10					
宿泊業	0	87	13	▲13	0	95	5	▲5					
浴場業	0	67	33	▲33	0	100	0	0					
飲食業	2	84	14	▲12	4	81	15	▲11					
旅客運送業	0	83	17	▲17	0	100	0	0					
その他	8	77	15	▲7	0	85	15	▲15					
損益	好転 7	横ばい 42	悪化 51	▲44	好転 10	横ばい 62	悪化 28	▲18	好転 12	横ばい 61	悪化 27	▲15	↑
宿泊業	16	15	69	▲53	14	61	25	▲11	11	59	30	▲19	↓
浴場業	0	67	33	▲33	22	56	22	0	22	45	33	▲11	↓
飲食業	2	50	48	▲46	6	64	30	▲24	10	63	27	▲17	↑
旅客運送業	13	49	38	▲25	0	86	14	▲14	0	71	29	▲29	↓
その他	14	43	43	▲29	20	47	33	▲13	20	67	13	7	↑
販売価格	上昇 7	横ばい 82	低下 11	▲4	上昇 5	横ばい 88	低下 7	▲2	上昇 4	横ばい 90	低下 6	▲2	→
宿泊業	3	81	16	▲13	4	84	12	▲8	4	88	8	▲4	↑
浴場業	0	67	33	▲33	17	83	0	17	0	100	0	0	↓
飲食業	6	86	8	▲2	5	91	4	1	5	91	4	1	→
旅客運送業	29	71	0	29	17	66	17	0	0	75	25	▲25	↓
その他	14	72	14	0	0	87	13	▲13	0	85	15	▲15	↓
仕入価格	上昇 51	横ばい 47	低下 2	49	上昇 41	横ばい 57	低下 2	39	上昇 44	横ばい 54	低下 2	42	↑
宿泊業	50	44	6	44	31	69	0	31	38	58	4	34	↑
浴場業	33	67	0	33	17	83	0	17	20	80	0	20	↑
飲食業	58	41	1	57	49	49	2	47	50	49	1	49	↑
旅客運送業	25	75	0	25	17	83	0	17	40	60	0	40	↑
その他	23	77	0	23	25	75	0	25	25	75	0	25	→
資金繰り	楽 1	普通 66	窮屈 33	▲32	楽 5	普通 66	窮屈 29	▲24	楽 5	普通 65	窮屈 30	▲25	↓
宿泊業	3	64	33	▲30	11	64	25	▲14	7	64	29	▲22	↓
浴場業	0	67	33	▲33	11	78	11	0	13	74	13	0	→
飲食業	0	65	35	▲35	3	64	33	▲30	3	63	34	▲31	↓
旅客運送業	0	62	38	▲38	0	43	57	▲57	0	33	67	▲67	↓
その他	0	86	14	▲14	7	80	13	▲6	8	84	8	0	↑
雇用人員	過剰 2	適正 66	不足 32	▲30	過剰 3	適正 69	不足 28	▲25	過剰 2	適正 68	不足 30	▲28	↓
宿泊業	0	58	42	▲42	0	66	34	▲34	0	64	36	▲36	↓
浴場業	0	67	33	▲33	11	56	33	▲22	0	62	38	▲38	↓
飲食業	3	74	23	▲20	4	77	19	▲15	4	74	22	▲18	↓
旅客運送業	0	37	63	▲63	0	14	86	▲86	0	17	83	▲83	↑
その他	7	50	43	▲36	0	67	33	▲33	0	64	36	▲36	↓

【調査概要】

(1) 調査対象

霧島市商工会会員のうち食品関連産業事業者及び観光関連産業事業者。

(2) 調査時期

平成29年7月

(3) 有効回収数

	合計	地区別回答数					
		溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山
食品関連産業	71	18	8	5	9	18	13
観光関連産業	145	22	7	37	21	50	8

(4) 対象期間

	時 期
前 期	平成28年 4月～9月期
今 期	平成28年10月～平成29年3月期
来 期	平成29年 4月～9月期

(5) 質問項目

業況、売上高、在庫、仕入単価、資金繰り、雇用人員、損益等

《D.I.について》

D.I.とは Diffusion Index の略で、企業の業況マインドや製品の在庫、雇用人員の過不足等について、回答企業の判断を指数化したものです。内閣府が発表する「景気動向指数」や、日本銀行の「短観」等で用いられており、各種研究機関等が実施する調査においても、自社の業況や売上・完工高、資金繰りや雇用人員等を指数化し調査しています。

算出にあたっては、例えば、業況の見通しについて「良い・普通・悪い」と選択肢があった場合、「良い」と回答した企業の割合から「悪い」と回答した企業の割合を差し引いて求めます。業況見通しD.I.は現状判断、景気の予測等に用いられています。